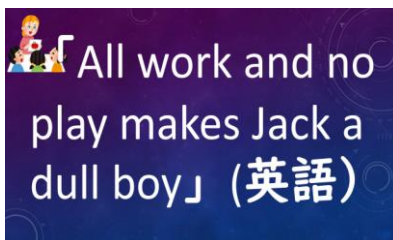




令和6年度 第17号  
令和6年7月19日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

## 1学期が無事に終了しました。あっという間の4カ月でしたね。

あっという間に1学期が終了しました。本校4年目になる校長ですが、毎年早く感じるようになっていきます。それだけ、子どもたちが元気にがんばった令和6年の1学期だったのでしょう。子どもが毎日、笑顔で過ごすことができる学校。そんな学校をこれからも目指し続けたい本荘小学校です。保護者の皆様、本当にありがとうございました。明日からは夏休みです。子どもたちはご家庭で過ごすこととなりますが、1学期の学びを夏休みのくらしにいかすことができるよう指導しておきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



さて、本日の終業式では、夏休みを前にして「よく学び、よく遊べ」ということについて話しました。講話の中でも紹介したのですが、世界各国でこの言葉が使われているのです。

現代社会でも「働き方改革」や「ワークライフバランス」という言葉が使われており、仕事一辺倒では十分な成果を上げることができないということが一般的になってきました。子どもたちの場合は、いわゆる座学だけではなく、体験的な、もしくは問題解決的な活動を体験することで、より「生きる力」を身に付けることではないかと考えます。ですので、この場合の「遊べ」にはゲーム等の受動的な遊びは入らないと思います。

私の好きなCMIに、ある建設会社のものがあります。いくつかのパターンがあるのですが、その中の一つに、自然の中で子どもたちが力を合わせて「秘密基地」をつくる様子と、その会社の従業員の方が働く姿を重ねて映し出すというシーンがあります。つまり、こどもの頃に秘密基地をつくって遊んだ時のアイデアや感性が大人になってからのそれぞれの仕事にフィードバックしていくという姿が描かれているのです。日曜のゴールデンタイムに流れています。ぜひ、ご覧になってはいかがでしょうか。きっと、思わず笑顔になってしまうと思いますよ。ちなみに、校長講話の詳細は「虫眼鏡」に載せておりますので裏面をご覧ください。

夏休みは、遊ぶにも、学ぶにも一番よい期間です。学校からの宿題は早めに終わらせて、いろんなことを体験してほしいと思います。私は個人的に、遊びの中にこそ究極の学びがあると考えます。遊びの中にある「何かを達成すること」こそ学ぶ意義だと考えるのです。もともと、「学ぶ」という言葉は「まねぶ」という言葉や「まねる」という言葉と同じ語源であると言われており、学ぶの意味にも「まねる」と書いてある辞典もあります。何かをまねるということ自体が学ぶということなのです。(裏面に続きます)

実は、この最終週、朝から1年生のこどもたちとセミ取りをしています。最初はさわれなかったこどもたちがセミを握ることができるようになりました。自分たちで虫取りあみをもって、校長先生がして見せたように、セミ取りにチャレンジしています。これが学びだと思えます。何かをうまくできるようになるためには、工夫努力が必要になります。そして、遊びの中で身に付けたことは、今度はお勉強の中で課題に対した時に、よりよく解決しようとする姿勢につながるはずで。そうやって、自ら身に付けた力で未来を切り拓いていくのです。

この夏休みは、ぜひ各ご家庭で、ゲームやネットに頼らない毎日の過ごし方を話し合ってみてください。宿題はしなければならぬものではありません。自分でするものです。早く終わりたいと思ったら、早く終わるような工夫をすればよいのです(笑)。そうやって、たくましく育てほしいと考える校長先生でした。では、すばらしい夏休みにしてください。(校長) ※昨年度と同じく、夏休み中も学校だよりを配信したいと思えます。本校HPと「すぐーる」で配信いたしますので、よろしくお願い致します。配信した分は、2学期に紙でもお配りいたします。

## 校長先生の虫眼鏡「終業式のお話 よく学び、よく遊べ」 終業式の校長講話です。ご家族でお読みください。

みなさん、おはようございます。いよいよ明日から夏休みですね。今から、夏休みに向けた大事なお話をします。が、今日は暑いので、そして、ハッピーちゃん表彰等があるので、集中して聞いてほしいところです。これを見てください。(「学」を提示)

「学」この字、知っていますか? おお、たくさん手が挙がりましたね。みなさん知っている人が多いようですね。そう、学校の「がく」、学ぶの「まな」と読みます。では、さっき少し見えたけど、「遊」この字を知っている人。これもまた多いですね。これは遊ぶの「あそ」、遊園地の「ゆう」と読みます。この二つの漢字を見せました。何か気づいたことはありませんか。よく見てください。二つのものを比べる時のコツはね、違うところと同じところを探すのですよ。

同じところってありますか。そうです!! この二つの漢字には、同じ漢字が含まれています。「子」という漢字ですね。なぜ? ですか? 近くの人と話してごらん。はい、二十秒間です。そうですね、学ぶことも遊ぶこともことにも関係することが多いのでしょうね。

その昔から「よく学びよく遊べ」という言葉が使われてきました。どんな意味なのでしょうね。まあ、おそらく「こどもは勉強する時はしっかり勉強して、遊ぶときは夢中になって遊びましょう」という意味です。そんな勝手なことを(笑)と思った人もいるかもしれませんが、同じ意味の言葉が外国にもあるのです。

まず英語です。「All work and no play makes Jack a dull boy」という言葉です。英語わかる人いるかな? 「勉強ばかりで遊びがないとジャック君は愚か者になる」という意味なのです。次にフランス語「Beaucoup de travail enrichit, trop de travail abrutit.」[ボク ド ラヴァイユ アンリッシ, トロ ド ラヴァイユ アブリュティ] たくさん仕事は、裕福になるが、多すぎる仕事は、愚かになる。続いて、ドイツ語「Arbeit allein macht nicht glücklich.」[アルバイト アライン マツハト ニツヒト グリュッククリヒ] 仕事だけでは幸せにならない。大昔のエジプトにも同じような言葉があったといえます。

世界中で、昔からこどもの頃の遊ぶ経験が生きていく上でとても重要であると考えられてきたのです。なぜかと言いますと、大人になってからの生活や仕事に必要なことを遊びの中で、体験的に模擬的に学ぶことができていたからです。例えば、人との接し方。知識や技術を習得すること。道徳的な判断をすること、生きるために必要な体力を身に付けることなどです。遊びは本来、こどもの成長になくはならないものでした。ここ学校は「よく学び、よく遊ぶ」ためにあるようなものだと校長先生は思っています。

みなさんの時間割を思い出してください。国語、算数、体育などの授業時間と休み時間がしっかりありますね。授業中はしっかりと勉強している皆さん。先生のお話を聞いたり、お友達と対話したり、作業に取り組んだり様々な学びに取組んでいます。校長先生が教室に入ってきて気づかないくらい集中してノートに自分の考えを書いているこどももいます。うれしいですね。「よく学び」とは、勉強する時間には一生懸命に学びましょうということです。

そして、休み時間にはお友達と元気に遊んでいましたよね。サッカーをしたり、ジャンブルジムにいたり、鬼ごっこをしたりと、みんなよく遊んでいます。その遊びの中で、ルールを守ったり、順番を考えたりしていますよね。これが「よく遊べ」です。

でも、明日からは夏休みです。頼りの先生はいません。自分で「よく学びよく遊べ」を実践していかないといけないのですよ。遊びすぎてだめです。ちゃんと宿題も出ますので、いろいろなことを後に回していると新学期が近くなった時に大変ことにありますよね。それに、高学年の人たちはこれまでも経験してきているから余計にわかるでしょうね。校長先生も毎年のめあてがあります。

- ①本を読んで勉強する。(15冊以上 今年には少なくして、その分、内容をしっかりと考えます)
- ②運動をして体質を変えます。(体重が、太る、やせるではなく、健康な体を目指します)
- ③家のことをきちんとします。きれいな家づくりをします。(これ、一番自信がありません)

目標は大きいからやる気が出るものです。みなさんもぜひ、目標を決めて今月の漢字「計」のように、「計画」的にすごしてください。では、夏休みも思いやりの心で笑顔の本荘小で過ごしてください。新学期は8月29日(木)です。待っていますよ。これで、校長先生のお話を終わります。